

コンクリート圧送作業に関するチェックリスト(圧送開始前の確認)

圧送開始前チェックリスト  
(圧送開始前の確認)

点検日	事前	年 月 日
	当日	年 月 日
点検者 サイン	現場担当者	
	圧送技能者	

No.	チェック項目	事前		当日		補足・コメント					
		現場 担当者	圧送 技能者	現場 担当者	圧送 技能者						
1	資格 ポンプ運転員は、資格者証を携帯しているか。 (登録基幹技能者、コンクリート圧送技能士(1級、2級)、特別教育終了者)										
2	ポンプの 点検										
3							①特定自主検査を受けたポンプか。 検査証は備えているか。 ステッカーは貼られているか。				
4							②月例の定期自主検査はなされているか。 検査記録は備えているか。				
5							③作業開始前点検がなされているか。 点検簿は備えているか。				
6							不良箇所は整備証明実施登録会社で修理されているか				
7							ステッカー類は、明示されているか。 (検査・整備済みステッカー、アウトリガ張出・格納、先端ホースの長さ、ブーム直下作業の禁止、スクリーンの取扱い、ホッパ緊急停止ボタン、用途外仕様禁止など)				
8	スクリーンが壊れていないか。 スクリーンが開いているとポンプの作動が停止するロック装置がついているか。										
9	ホッパ内アジテートの緊急停止スイッチを確認したか。 緊急停止させる手法を確認したか。										
10	ポンプ機種は計画通りのものか。 (吐出量、吐出圧、ブーム長、車体の大きさ等)										
11	ポンプの 設置										
12							設置場所は安全か。 ・法面近傍や軟弱な地盤ではないか。 ・アウトリガは完全に張り出せるか。 ・送配電線から安全な離隔が取れるか。 ・第三者に影響を及ぼさないか。 ・配管を用いた圧送を行う際、ポンプ車にタイヤ止めをしたか。				
13							ポンプの傾斜は、前後左右3°以内になっているか。				メーカーにもよるが、3°以内で設置する。
14							敷鉄板は敷かれているか。				
15							受盤木は敷かれているか。				
16	アウトリガは完全に張り出したか。 ロックピン等で固定しているか。					完全張出ができない場合、事前に荷重のバランスを考え、転倒に対する安全性を必ず確保しておく。					
17	立入禁止措置を行ったか。 作業範囲を周知したか。					関係者も立入禁止					
18	ブームの 状態・ 操作										
19							ブーム作業の場合、先端ホースの長さは適切か。 延長していないか。				
20							※JIS A 8612:コンクリート及びモルタル圧送ポンプ、吹付機並びにブーム装置-安全要求事項 附属書3 先端ホースの長さ 【ホースガイド式】 ドッキングホース 125Aは3m、100Aは4m以内 テーパー管 1.2m以内 先端ホース 125Aは5m、100Aは7m、90Aは8m以内 【先端エルボ方式】 先端ホース 4m以内				
21							先端ホースに落下防止措置(ワイヤー)を講じているか				
22	ブームを完全収納してからの移動を周知・確認したか。										
23	用途外使用を禁止したか。 (輸送管の吊上げ等のクレーン作業の禁止)										
24	作業指示書に記入したか。										
25	KYK(危険予知活動)、TBM(ツールボックスミーティング)に参加したか。										
26	保護具を着用しているか。 (安全帽、安全帯、安全靴、保護眼鏡、手袋など)										
27	共同作業(人、名前、資格)を確認したか。										
28	共同作業者との合図を確認したか。										
29	クレーン等の合図を统一的に定めて周知・確認したか。					玉掛け・玉外しは合図を待って行うこと(フックの停止等) (複数の荷は結束すること)					
30	人払いを周知・徹底したか。 ・ブーム直下での作業の禁止 ・筒先(排出口)正面での作業の禁止 ・上下作業の禁止 ・立入禁止エリアへの進入禁止										
31	アジテータ車の誘導者は適正に配置されているか。 誘導者は専属か、アジテータ運転手か。										
32	アジテータ車の停車位置を明示しているか。 (端太角、輪止め)										
33	架空線に近接する作業では監視人を配置しているか (架空線下を車輛系建設機械が移動する場合も同様)					監視人やセンサー等の設備により、必要離隔を確保のこと 架空線の近接作業は、複数の目で離隔確認 (特に冬場積雪地帯は事前確認を十分に行う)					